

鷺浦コミュニティセンターだより

双鷺洲



謹んで新春のおよろこびを申し上げます

念頭のご挨拶

鷺浦コミュニティセンター運営委員長

開本益夫



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、おそろいで輝かしい新年をお迎えられお慶び申し上げます。

私、この度、鷺浦コミュニティセンター運営委員長を引き受けることになりました。この施設は、鷺浦町の離島振興を推進することを目指して(前委員長田中 信一氏の力添えで)昭和六十年七月に開館しました。以来、行政・文化・芸術・保健福祉活動等、地域の総合施設として大きな役割を果たしてきています。現在も、三原市中央公民館と連携しながら各種の研修講座を開設し、自己啓発や生涯学習の推進をはじめとして「トリアスロン大会」の拠点として、又、各種団体の会議や行事などに活用されています。

不況、不況と嘆いても仕方ありません。こんな時、行政面では他市の真似をすることが多かったと思いますが、これからは独自のオンラインワンの時代です。国も言っているように地方の独自性の時代であります。

鷺島の将来を推測する時、鷺島しかない特産物、伝統文化、精神的な考えなどがこれからは大切になってくると思います。

丁度、鷺島にはトリアスロンがあります。ところが、今迄これを上手に活用していなかったのではと感じています。鷺島にとってこの活用が鷺島を元気にする一つの方法・課題でありましょう。

昨年、私は議員活動の一つとして東京にあるニュージールランド大使館に視察に行きました。

トリアスロンに関して、鷺島とニュージールランドは親密な関係にあります。これは、日本広しといえども、鷺島にとってオンラインワンではないかと思えます。鷺島の宣伝にと思い、ミカンを送付したところ「たいへん美味だった。鷺島の皆様に宜しく」との礼状が届きました。

私はこれからも鷺島が元気で、住みやすい美しい島にするべく議員活動を続けたいと考えております。皆様の一層のご理解、ご支援をお願い申し上げます。鷺浦町民のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



三原市議会議員

登木敏之



新年明けましておめでとうございます。旧年中は町民の皆様のご支援を賜り充実した議員活動ができましたことを、厚く御礼申し上げます

新生三原市が誕生して4年目を迎えました。今回は全市域での市議選となり、4月16日の投票で首長と同時選挙となっております。定数は37議席から32議席に減員となり、激しい選挙戦となると思われま。

近年、離島や中山間地域の過疎化に対する地域の再生が全国行政の命題となっており、超高齢化の時を迎えた佐木島においても少子化や高齢化、過疎化、又、鷺浦中学校の閉校等、疲弊した佐木島をどう興すか、私達がかつて経験したことがない大きな過渡期を迎えております。

活性化の特効薬の模索が続く中で、各地域における伝統・文化の継承や、佐木島のPRに努めるボランティアやガイドの発足、ふるさと産品の開発並びに研究グループの活動、更には、伝統・文化・歴史の発信拠点施設として誕生したふるさと館など、観光振興が確かな歩みが続いております。

各分野において積極的な取り組みが行われており、佐木島に新たな風が吹き始めた中、近年、来島者も徐々に増えてきており、潮騒香る新風をいかに

島の経済効果に結びつけていくかが問われています。

又、間近の課題としては、高齢者福祉対策として老人ホームやケアハウス等の施設整備が不可欠となっており、ニーズ調査の実施が必要であります。更に、冬の寒さでの急患搬送は担架が収容できるストレッチャー・装備の小型救急車の導入が不可欠であります。永年交渉を続けておりましたが昨年11月29日の市政懇談会で市長から21年度の予算で対応するとの答弁をいただいたところです。また、本土への運賃抑制は、各三原・尾道行き6航路の運送会社に対し緊急的に離島航路の支援事業として燃料費高騰に対する補助を行うことが昨年の12月議会で可決しております。

過疎化歯止め策の一環として定住促進や、食の安心・安全性や世界的な食糧難が予測される中で、三原市の自給率向上のための農業振興や、地産・地消の推進等課題は山積しておりますが、いずれも離島振興法を絡め解決に努めたいと考えております。

今年も、皆様方の格別のご理解とご支援のほど宜しくお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

鷺浦町内会長 河野 貢



新年明けましておめでとござい
ます。平素より、町内会の諸行事に
対し、ご理解、ご協力をいただき
ありがとうございます。
時の変わり目に町内会長を引き受
け、頭を振っている間に新年を迎え
ることとなりました。
さて、アメリカがおかしくなると、
連動している日本経済が傾き、失業
者が増大し、税だけは高くなり、島
での生活もたいへん厳しくなってい
ます。
山の頂まで耕していた段々畑は、
とうの昔雑木が茂り、ミカン畑は楓
や落葉広葉樹に変わろうとしており
ます。まだまだ、元気だと言ってい
る間に、一人抜け二人逝き、周りを
見れば、電動車や手押し車がふえる
ばかりです。
そして、鷺浦もついに人口1、
00人をぎり、いよいよ高齢化の波
に覆われて参りました。交通、特に
船便の問題、猪害、福祉、農業後継
者、・・・そして、区の毎年の行事
・交代する役員のいない各種団体と
限りなく難題が続きます。
最近「5年後10年後の鷺浦はど
うなっているか、想定している？」と
問われることが多くなりました。世
の中が半年で激変する時代、そこま
で考えられないというものの、5年
後は確実にやってきます。
その時、「オットどっこい元氣な
島が瀬戸内海にあるそうなの」と言わ
れるようにあれば文句はないのです
が、正月の夢物語でしょうか。
人ごとでなく、皆が、昔とつた杵
柄の役を買ってで、やってみれば
面白いことになると思います。



本年もよろしくお願い申しあげま
す。
市政懇談会 11月29日(土)
開会前、女性コーラスが素晴ら
しい美声でさぎしまをPR。
市政全般について、市長の説明
後、町内からの質問に次のような
解答をえました。(参加者60名)
・佐木 須ノ上間の水道を繋げる
市長 繋いで環状にします。
・須ノ上の水道の消火栓を2個増
消防長 前向きに検討する。
・向田体育館の屋根の補修
市教委 年中入札・補修する
・向田グラウンド照明灯修理
市教委 来週、調査修理する。
・鷺小移転の時
市教委 耐震問題で七月以降



・救急病人の搬送で幌付き車の確保
市長 検討して実施する。
・猪の猟で11/14の猟の許可を
農林課 実質的、許可している。
・コミセンの調理室を工房に開放。
市教委 検討、有効活用する。
・通学バスの利用拡大・・・検討
須ノ上区だけ、連絡業務委託費がな
いのはなぜか・・・分からない。
等等かなり、前向きな解答を得ま
した。
一秒を競う36歳福元選手 12/10
鷺小道徳研究会で福元哲郎選手の
「トライアスロンにかける情熱、
自分の夢」と題した90分の講演会が
開催されました。あきらめなかつた
ので夢100%叶った。競技用の片手で
持てる軽い自転車は14万円(練習用
に、60万、94万の自転車も持つ)。
120gの靴・体脂肪4%ヘー、大
人も含め、驚きでいっぱいでした。
「サーブスで筋肉にさわる児童たち

お知らせ 21年1月4日より、
運転免許証切り替え時は、全てI
C免許証となります。8桁の暗証
番号が必要です。あらかじめ、考
えていてください。番号は次回ま
で変更できません。(県警察本部)
コミセン展示会計画
百日祭がなくなったので、コミ
セン教室の作品と町内一般の作品
のささやかな展示会を3月19、21
日に予定します。
一般の展示作品を応募ください。
申し込みはコミセン事務局へ



物産部会、広島夢プラザへ
28日、さぎしま物産部会13名は
市企画課の援助を受け、県離島振
興協議会主催の離島フェア(11
/26、12/2)に初めて参加した。
産物は、みかん・レモン・キウ
イ・蜜柑餅・わけぎ・里芋・マー
マレード・柑ゆの8品目。
全員、そろいの上着でパワー全
開、予定より上々の売れ行き。満
足、満足。面白かったが疲れた！

町内会行事予定 (三ヶ月)
1/1(木)元旦祭・歳祝い・厄払い
2(金)新春ロードレース(須ノ上)
11(日)消防出初式・報告会
18(日)初祈祷(須ノ上)
18(日)御大師さん
18(日)第4回市民ビーチボール大会
25(日)町内・架橋新年会
2/5(木)トライアスロン役員会
11(月)初祈祷(向)祈年祭(佐)
15(日)三条 豊 歌謡シヨウ
3/10(火)中学校卒業式
20(金) 22 展示会
俳句・山柳・短歌
・北風に うらがへしゆく 人の顔
・一ツ屋に ニツの余生 良夜かな
あかんたれ
・寒気吸う 朝のウオーク 呼吸定む
KK
・大山や 裾は紅葉で 雪かぶり
・みかん採みあつという間の歳の暮れ
M・T
・網破り 極早生みかん 猪に
完食されて 取り入れ省け
・野良猫君 朝夕訪れ 餌ねだる
フードカリカリ 好んで食す
R
・エネルギー出さねば沈む この島が
明日を夢見て ヨイシヨと声かけ
島の良さ 皆んな笑える 初夢を
見たいと願い 除夜の鐘つく
ウリボー
・甦る いつでもどこでも 不況時
造船リストラ 叔父のお陰倉
・父母よ 子からひ孫で 35
大三島会 良き思い出なり
D生